

さなぎダンス#8



出演：酒井エル，
神戸大学発達科学部舞踊ゼミ，

西 彩子+多賀成美，橋本みゆな+阪本愛結

向井望+小泉ゆうすけ(劇団態変)

2012年に始まったこの企画も、5年目に入ります。コンテンポラリーダンスが、身体の存在の形態そのものに注意深い考察を加え続けるものとしたら、このショーケースの組み合わせは、まさにそのためにあるものだとして過言ではないように思えます。

今回は、「さなぎ」という名前に相応しい現役の大学生たちが一組。そして、長年態変に関わり、多彩なジャンルのダンスを内に抱えたダンサー、そして態変から満を持して、の三組です。

世の中にはいろいろ困難ですが、「最後は身体」、と思っています。「最後」的状況にならないに越したことはないですが、最後のよすがは身体でしょう。三種の厳しい縁のようなありようをお見せできれば、ぜひお越し下さい。(企画・上念省三)

日時：2016/1/16 19:30, 17 13:30, 17:00 開場 30 分前

料金：前売 2000 円/当日 2200 円

障がい者及び介助者/25 歳以下

1500 円

※定員各回 30 名程度。お早めにご予約ください

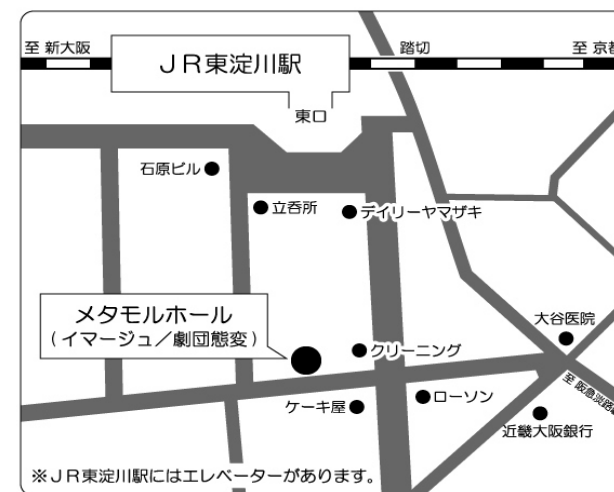
会場：メタモルホール(JR 東淀川駅東口徒歩 3 分)

大阪市東淀川区西淡路 1-15-15

ご予約・お問合せ：劇団態変

Tel/Fax：06-6320-0344

Email：taihen.japan@gmail.com





何井 望 ■2000年『壺中一万年祭』のエキストラとして態変の公演に6歳で参加。以来エキストラとして出演を重ね、2011年『喰う』より役者としてデビュー。以降、ほとんどの作品に出演している。2011年『ファン・ウンド潜伏記』では、態変の韓国海外公演への出演も果たした。小さな身体で宇宙を体現するその存在は、態変表現の本質として、欠くことのできないパフォーマーとして成長している。一作ごとに驚異的な変貌を遂げ、今後が楽しみな目が離せない有望株。(写真:中山和弘)

小泉ゆうすけ ■1987年、高校生の時に劇団態変と出会い、衝撃を受ける。1988年「カイゴ・香異湖・KAIgo!」より態変に参加。以降、態変の本公演にほぼ全作参加している。2001年にはエディンバラの劇団、Theatre Workshopの「Kaguyahime」に客演。2012年の「福森慶之介一世一代 又、何処かで」では、故福森慶之介の相方役を務めた。集中した演技と、独特のバランスを持った身体による表現には定評があ

る。さなぎダンスは、#2以来二回目の参加となる。(写真:荒川諒也)

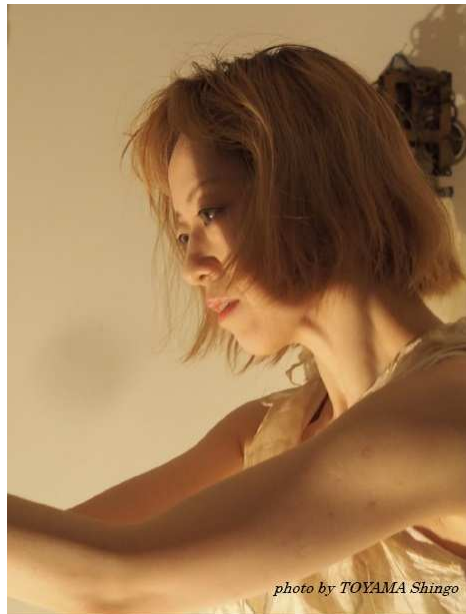


photo by TOYAMA Shingo

酒井エル ■幼少よりバレエを、その後民族舞踊を国内外で学び、舞台と講師活動をしてきました。近年はミュージシャンとの即興やアーティストとのコラボレーション、自身のダンス・パフォーマンス作品を発表しています。より多様な表現形態を探していた頃に態変と出会いました。そこで得た経験は、今現在の自分が考える、踊る身体を支える根源的な力、美意識のこだわり、瞬間への執着といった事柄に結びついています。態変パフォーマーと場を共有する貴重な機会である「さなぎダンス」。とても楽しみにしています。

神戸大学発達科学部人間表現学科 舞踊ゼミ有志

■西彩子 □幼少よりクラシックバレエを学ぶ。2012年、神戸大学発達科学部人間表現学科入学、コンテンポラリーダンスに出会う。関典子に師事。2014年第2回座間全国舞踊コンクール第2位、横浜ダンスダンスコレクション 2015 新人振付家部門ファイナリスト、アーティストティックムーブメント・イン・トヤマ 2015 特別賞

■多賀成美 □幼少より貞松浜田バレエ学校にてバレエを始める。大学にてコンテンポラリーを関典子に師事。ストリートダンスにも携わり、幅広い舞踊活動を行っている。「第2回座間全国舞踊コンクール」第2位。「アーティストティックムーブメント・イン・トヤマ 2015」特別賞

■橋本みゆな □9歳よりジャズダンスを習い始める。15歳でコンテンポラリーダンスに出会い、ザビエル守之助に師事。現在は神戸大学発達科学部舞踊ゼミに在籍。舞踊を学びつつ、舞台表現団体での振付・指導やダンス公演への参加などを通して「自分のダンス」を模索中。

■阪本愛結 □幼少よりクラシックバレエを習い、スタジオブルミエールにて、坂入泰光、坂入美保に師事。2014年神戸大学発達科学部人間表現学科に入学し、コンテンポラリーダンスに出会う。現在、プリマステッラバレエにて瀬戸口高史、中田一史に師事。

